

実験報告書に関する操作の説明資料です。

目次

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 実験報告書の提出 | P.2 ~ 12 |
| 2. 実験報告書の検索 | P.13 ~ 16 |

※1 実際の画面は、本説明資料と異なることがあります。

※2 本資料は、予告なく変更することがあります。

次ページ以降は、実験報告書の提出に関する操作説明です。

- (1) 実験報告書は、実験責任者が提出してください。
- (2) 共同実験者が代理として実験報告書を提出する場合は、実験責任者からの指示により、代理者が補足説明.P16を参考にして提出してください。
- (3) 実験報告書が差戻しされた場合は、共同実験者が代理提出した場合も実験責任者のみが再提出可能です。実験報告書が差し戻しされたかどうかは、ログイン後のポータル画面か実験報告書の検索で確認できます。

1. 実験報告書の提出

作業

実験責任者が、実験報告書を提出する手順を示します。

実験報告書は書式が定められていますので、テンプレートを使用してください。

(1) 実験報告書 → テンプレートの順にクリックして、テンプレートをダウンロードしてください。

次ページに実験報告書のテンプレート例を示す。

使用する画面（研究成果管理システム）

ログインしている人物の名前

研究 太郎さん

実験報告書

新規作成
検索
テンプレート

実験報告書→テンプレートの順にクリック

研究成果登録状況

実験報告書未登録課題 5件

課題番号	課題名称	実験の種類	実験責任者	チームライン番号
TEST_2016J_003	TEST_2016J_003_J	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2016J_004	TEST_2016J_004_J	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2016J_002	TEST_2016J_002_日	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2017J_003P	TEST_2017J_003P 日	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2017J_004P	TEST_2017J_004P 日	MLF	研究 太郎	TEST-1

研究成果未登録課題 0件

下書き 3件

成果管理番号	成果分類	BL運営組織	表題	公開 / 非公開	実験の種類	課題番号	更新日時
PKZF-A33M	実験報告書	JAEA,		成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/11/06 17:33:33
KV4K-DV5C	論文	JAEA,	TEST 2017/10/10 成果マスタの整備後	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/11/06 11:34:32
RCNK-3ACN	論文	JAEA,	再試験 事務室担当者が差戻しするまでの動作を検証する。10/31	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_002P	2017/11/01 11:05:19

https://jpd.j-parc.jp/pds/info/experimental_report.doc

1. 実験報告書の提出

作業

右記が実験報告書のテンプレート例です。

(2)テンプレートに記載された事項に従い実験報告書を作成しPDFファイルへ出力してください。

PDFファイルは、後で実験報告書の登録で使用します。

次ページに実験報告書の新規作成画面への移動方法を示します。

研究成果管理システムでダウンロード可能な実験報告書のテンプレート例

[template of MLF Experimental Report (Title of your proposal)]
J-PARC Center (Affiliation of principal investigator) · William Bragg (Name of principal investigator)

Please make sure your report satisfying followings:
以下の指示に従い作成すること（産業利用課題は全文和文での作成も可）。

- The number of pages should be less than 2 in A4 size.
・ページ数を A4 で 2 ページ以内に収める。
- Submit the report with pdf format.
・報告書は pdf フォーマットで提出する。
- Remove security settings or password.
・パスワード等のセキュリティ設定を外す。
- **Delete all instructions/examples highlighted in red.**
・赤字で記載されたインストラクションを削除する。

1. Introduction

- While referring to previous studies related to your research project, please describe a research trend (hot topics etc.) in the field and a place of your project. Please also describe the present status and unsolved problems of your research project.
・課題に関連した先行研究を参照しながら、当該分野における申請者の研究についてその位置づけ、および現在の到達点と解決すべき課題等を簡潔に述べること。
- Give a specific goal(s) of this experiment in your research project while referring the background above.
・上記の研究背景を参照しながら、この課題の位置づけと短期的な目的を具体的に記載すること。

2. Experiment

- Describe the details of the experimental method (e.g., measurement condition(s), data analysis protocol, etc.) you have performed to achieve the goals above.
・前述の目標を達成するために行った具体的な方法（測定条件、解析の手順等）を記載すること。

3. Results

- Describe the details of the experimental data you have obtained based on the method above.
・上記の結果得られた実験データについて、図を交えて詳細に記載すること。
- If you failed to conduct experiment as planned, please describe reasons.
・実験がうまくいかなかった場合はその理由も記載すること。

4. Conclusion

- Describe the achievements and future prospects based on the experimental data.
・得られた知見や今後の展望について記載すること。

1. 実験報告書の提出

作業

(3) 実験報告書の新規作成画面への移動方法は以下の2通りあります。

方法その1

このログイン直後に表示される画面から直接移動する。

タブ: 実験報告書未登録課題から、実験課題番号をクリックしてください。

次ページの実験報告書の新規作成画面へ移動します。

方法その2

実験報告書→新規作成の順にクリックしてください。

次ページの実験報告書の新規作成画面へ移動します。

使用する画面（研究成果管理システム）

The screenshot shows the J-PARC Research Results Management System interface. The browser address bar is <https://jpdj-parc.jp/pds/user/>. The user is logged in as "研究 太郎 さん". The main navigation menu includes "実験報告書" (Experiment Report), "新規作成" (New Creation), "検索" (Search), and "テンプレート" (Template). The "実験報告書" menu item is circled in green, with an arrow pointing to a callout box that says "方法その2 実験報告書→新規作成の順にクリック" (Method 2: Click Experiment Report → New Creation in order). The "実験報告書" menu item is also circled in green, with an arrow pointing to a callout box that says "方法その1 実験課題番号をクリック" (Method 1: Click Experiment Task Number). The "実験報告書未登録課題" (Experiment Report Unregistered Tasks) section shows a table with 5 items. The first item, "TEST_2016J_003", is circled in green, with an arrow pointing to a callout box that says "方法その1 実験課題番号をクリック" (Method 1: Click Experiment Task Number). The "研究成果未登録課題" (Research Results Unregistered Tasks) section shows a table with 3 items. The first item, "PKZF-A33M", is circled in green, with an arrow pointing to a callout box that says "方法その2 実験報告書→新規作成の順にクリック" (Method 2: Click Experiment Report → New Creation in order). The URL at the bottom of the page is <https://jpdj-parc.jp/pds/user/pub/#/new/1/110/1201/st>.

ログインしている人物の名前

方法その2
実験報告書→新規作成の順にクリック

方法その1
実験課題番号をクリック

課題番号	課題名称	実験の種類	実験責任者	ビームライン番号
TEST_2016J_003	EST_2016J_003_J	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2016J_004	EST_2016J_004_J	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2016J_002	EST_2016J_002_日	LF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2017J_003P	EST_2017J_003P_日	LF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2017J_004P	EST_2017J_004P_日	LF	研究 太郎	TEST-1

成果管理番号	成果分類	BL運営組織	表題	公開 / 非公開	実験の種類	課題番号	更新日時
PKZF-A33M	実験報告書	JAEA,		成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/11/06 17:33:33
KV4K-DV5C	論文	JAEA,	TEST 2017/10/10 成果マスタの整備後	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/11/06

1. 実験報告書の提出

作業

(4) 実験報告書へ必要な情報を入力してください。以下、項目の説明です。

① 実験課題とビームライン
「実験課題とビームライン選択」ボタンを押すとログインしている人物に紐づく課題一覧画面が表示されるので、提出する実験課題を選択します。次ページに課題一覧画面例を示します。

使用する画面（研究成果管理システム）

研究成果情報 新規登録

成果管理番号:
実験報告書 - MLF利用実験

状態:
最終更新:

代理登録

Name or Email : Search

Select person

実験課題とビームライン **

実験課題とビームラインを選択

課題番号	実験課題名	ビームライン
------	-------	--------

実験責任者 **

Ja:
En:

Type or Select Person

ファイル **

Choose a file

【実験課題とビームライン選択】ボタンを押すと、実験課題とビームラインがマトリクス形式で表示されますので、該当する課題やビームラインにチェックを付けてください。

実験課題を選択すると、実験責任者が自動的に入力されます。

ログインしている人物の名前

研究 太郎さん

HELP

※ 紙面サイズの都合上、この画面の下半分を割愛しています。

1. 実験報告書の提出

作業

使用する画面（研究成果管理システム）

(4)①の続き
「実験課題とビームライン選択」ボタンを押した時に表示される課題一覧画面の例です。

提出する実験課題を選択し、「選択を反映」ボタンを押します。

実験課題・ビームライン選択

課題番号 type a part of prc	実験課題名 type a part of titl	ビームライン	
		BL-16	TEST-1
<input checked="" type="radio"/> TEST_2016J_001	TEST_2016J_001_E / TEST_2016J_001_日		TEST-1
<input type="radio"/> TEST_2016J_003	TEST_2016J_003_E / TEST_2016J_003_日		TEST-1
<input type="radio"/> TEST_2016J_004	TEST_2016J_004_E / TEST_2016J_004_日		TEST-1
<input type="radio"/> TEST_2017J_003P	TEST_2017J_003P E / TEST_2017J_003P 日		TEST-1
<input type="radio"/> TEST_2017J_004P	TEST_2017J_004P E / TEST_2017J_004P 日		TEST-1
<input type="radio"/> TEST_2017J_BL16	TEST_2017J_BL16 E / TEST_2017J_BL16 日	BL-16	

✕ キャンセル

この画面をキャンセルする時は、「キャンセル」ボタンを押す。

↓ 選択を反映

選択した結果を適用する時は、「選択を反映」ボタンを押す。

1. 実験報告書の提出

作業

(4)の続き
以下、項目の説明です。

②実験責任者
自動で割り付けます。

③ファイル
(2)で作成した実験報告書を
アップロードします。
実験報告書をアップロードする
場合、「Choose a file」ボタン
を押してください。
アップロードできるファイルは
PDFファイルのみです。
実験報告書のテンプレートは
メニューバーのテンプレートから
ダウンロードしてください。

※ 紙面サイズの都合上、
この画面の下半分を割愛して
います。

使用する画面（研究成果管理システム）

ログインしている
人物の名前

J-PARC 研究成果管理システム お知らせ 新規登録 成果検索 実験報告書

研究 太郎さん English

← 前の画面に戻る

研究成果情報 新規登録 成果管理番号: 実験報告書 - MLF利用実験 状態: 未提出 最終更新:

代理登録 Name or Email: Search Select person

実験課題とビームライン ** 実験課題とビームライン選択

課題番号	実験課題名	ビームライン
TEST_2017J_003P	TEST_2017J_003P E / TEST_2017J_003P 日	TEST-1

実験責任者 ** Ja: 研究 太郎 En: Tarou KEENKYU 研究 太郎 / Tarou KEENKYU

「Choose a file」ボタンを押す。
ファイル形式はPDFのみ。

Choose a file

PDFファイルを添付してください。添付可能なPDF
ファイルのサイズは、最大5MByteまでです。

1. 実験報告書の提出

作業

(4)の続き
以下、項目の説明です。

④成果発表予定:時期
成果を発表する時期を選択してください。

⑤成果発表予定:形式
形式を入力してください。

⑥時期未定の理由
④で未定を選択した理由を入力してください。

(6)内容を確認し、提出する時は「提出」ボタンを押してください。

提出しない場合は、「下書き保存」ボタンを押してください。「提出」ボタンを押すと、入力必須項目の入力チェックが行われ、入力されていれば次ページの登録画面へ移動します。

※ 紙面サイズの都合上、この画面の上半分を割愛しています。

使用する画面（研究成果管理システム）

成果発表予定:時期 半年以内 1年以内 2年以内 未定

成果発表予定:形式

時期未定の理由

発表の目途が立たない場合はその理由と今後の計画を記載してください。

差異し理由

下書き保存

提出

一時保存したい時は、「下書き保存」ボタンを押す。

提出したい時は、「提出」ボタンを押す。

1. 実験報告書の提出

作業

(6)登録結果確認画面
です。
この画面を終了する場
合、「閉じる」ボタンを押
してください。
次ページの画面へ移動
します。

使用する画面（研究成果管理システム）

研究成果情報の更新が完了しました。

成果管理番号: X5U9-FX5G BL運営組織: JAEA, 状態: 事務室確認中

課題	TEST_2016J_005 TEST_2016J_005_J TEST_2016J_005_E
ビームライン	ビームラインテスト1 / BeamLine test 1
著者	研究 太郎 / Tarou KEENKYU
発表年	2016
差戻し理由	
ファイル	
提出期限	
提出日	

↓ 閉じる

「閉じる」ボタンを押す。

1. 実験報告書の提出

作業

(7) 右記のような画面が表示されるので、「前の画面に戻る」ボタンを押してください。
新規作成を選択する前の画面に戻ります。

これで、実験報告書の登録作業は終了です。

使用する画面（研究成果管理システム）

研究成果管理システム

お知らせ 新規登録 成果検索 実験報告書

研究 太郎 さん English

成果管理番号: KWAG-EUS0
実験報告書 - MLF利用実験

状態: 承認待ち
最終更新: 2018/01/17 11:30:16

前の画面に戻る

「前の画面に戻る」ボタンを押す。

実験課題とビームライン **

** 実験課題とビームライン選択

課題番号	実験課題名	ビームライン
TEST_2017J_001P	TEST_2017J_001P E / TEST_2017J_001P 日	TEST-1

【実験課題とビームライン選択】ボタンを押すと、実験課題とビームラインがマトリクス形式で表示されますので、該当する課題やビームラインにチェックを付けてください。

実験責任者 **

Ja: 研究 太郎
En: Tarou KEENKYU

研究 太郎 / Tarou KEENKYU

Ja:
En:
Type or Select this person belongs to

実験課題を選択すると、実験責任者が自動的に入力されません。

※ 紙面サイズの都合上、この画面の下半分を割愛しています。

次ページ以降は、実験報告書の検索に関する操作説明です。

2. 実験報告書の検索

作業

実験報告書の検索作業を示します。

(1) 実験報告書 → 検索の順にクリックしてください。

次ページの実験報告書の検索画面へ移動します。

使用する画面（研究成果管理システム）

ログインしている人物の名前

実験報告書 → 検索の順にクリック

研究成果登録状況

実験報告書未登録課題 5件

課題番号	課題名称	実験の種類	研究 太郎	番号
TEST_2016J_003	TEST_2016J_003_J	MLF	研究 太郎	
TEST_2016J_004	TEST_2016J_004_J	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2016J_002	TEST_2016J_002_日	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2017J_003P	TEST_2017J_003P 日	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2017J_004P	TEST_2017J_004P 日	MLF	研究 太郎	TEST-1

研究成果未登録課題 0件

下書き 3件

成果管理番号	成果分類	BL運営組織	表題	公開 / 非公開	実験の種類	課題番号	更新日時
PKZF-A33M	実験報告書	JAEA,		成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/11/06 17:33:33
KV4K-DV5C	論文	JAEA,	TEST 2017/10/10 成果マスタの整備後	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/11/06 11:34:32
RCNK-3ACN	論文	JAEA,	再試験 事務室担当者が差戻しするまでの動作を検証する。10/31	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_002P	2017/11/01 11:05:19

事務室確認中 3件

成果管理番号	成果分類	BL運営組織	表題	公開 / 非公開	実験の種類	課題番号	更新日時
CTA9-75DE	論文		再確認 手入力の課題番号とビームライン 11/06	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_manual Input 001	2017/11/06 15:19:06
K3EZ-0XDK	論文	JAEA,	再試験 10/30 成果分類:論文登録 / Test	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_002P	2017/10/30 14:49:27
6USE-E4KE	論文	JAEA,	成果項目整備(10/06)後の動作確認です。	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/10/10

https://ipdj-parc.jp/pds/user/#expMenu Reserved.

2. 実験報告書の検索

作業

(2) 検索する時、実験報告検索画面の「SEARCH」ボタンをクリックしてください。検索が開始され、次ページのような検索結果が表示されます。

キーワードによる絞り込み検索が可能です。

実験報告書の状態による絞り込み検索が可能です。

使用する画面（研究成果管理システム）

The screenshot shows the '実験報告書 検索' (Experimental Report Search) page in Internet Explorer. The browser address bar shows 'https://jpd.j-parc.jp/pds/user/experiment/'. The page title is 'J-PARC 研究成果管理システム'. The search form includes a 'キーワード' (Keyword) input field, a '成果発表年' (Publication Year) dropdown, and a '状態' (Status) section with checkboxes for '未提出' (Not submitted), '下書き' (Draft), '承認待ち' (Awaiting approval), and '承認済み' (Approved). A 'CLEAR' button and a 'SEARCH' button are also present. The 'SEARCH' button is circled in green. A table below the form shows search results with columns for '成果管理番号...', '状態', '課題番号', '実験課題名', '実験責任者...', 'チームライ...', '提出期...', '残日...', '提出日', '提出者', '差戻日', '承認...', and '詳細'. The footer of the page reads '2015 J-PARC Center All Rights Reserved.'

キーワード入力エリア

「SEARCH」ボタン

実験報告書の状態

2. 実験報告書の検索

作業

(3) 実験報告検索画面の検索結果例です。

表示結果をクリアしたい場合、「CLEAR」ボタンを押してください。

使用する画面（研究成果管理システム）

実験報告書 検索

キーワード 33M

成果発表年

状態 未提出 下書き 承認待ち 承認済み

CLEAR SEARCH

合計: 1件 1 / 1 100 件 / ページ

成果管理番号...	状態	課題番号	実験課題名	実験責任者...	ビームライ...	提出期...	残日...	提出日	提出者	差戻日	承認...	詳細
PKZF-A33M	差戻し中	TEST_2017J_001P	TEST_2017J_001P E / TEST_2017J_001P 日	研究 太郎, Tarou KFFNKYU I	TEST-1			2017/11/02	研究 太郎	2017/11/06		

2015 J-PARC Center All Rights Reserved.

補足説明資料

次ページ以降は、共同実験者が実験報告書を代理で提出する場合の操作説明です。

基本的に実験責任者の操作と大きな違いはありません。

実験報告書が差戻しされた場合は、実験責任者のみが再提出可能です。

実験報告書が差し戻しされたかどうかは、実験報告書の検索で確認できます。

2. 実験報告書の代理提出

作業

実験責任者の代理人
が、実験報告書を提出
する手順を示します。

実験報告書は書式が
定められていますので、
テンプレートを使用し
てください。

(1) 実験報告書→
テンプレートの順に
クリックして、テン
プレートをダウンロード
してください。

次ページに実験報告書
のテンプレート例を示
す。

使用する画面（研究成果管理システム）

ログインしている代理人の名前

実験報告書

新規作成
検索
テンプレート

実験報告書→テンプレートの順にクリック

研究成果登録状況

実験報告書未登録課題 5件

課題番号	課題名称	実験の種類	実験責任者	チームライン番号
TEST_2016J_003	TEST_2016J_003_J	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2016J_004	TEST_2016J_004_J	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2016J_002	TEST_2016J_002_日	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2017J_003P	TEST_2017J_003P 日	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2017J_004P	TEST_2017J_004P 日	MLF	研究 太郎	TEST-1

研究成果未登録課題 0件

下書き 3件

成果管理番号	成果分類	BL運営組織	表題	公開 / 非公開	実験の種類	課題番号	更新日時
PKZF-A33M	実験報告書	JAEA,		成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/11/06 17:33:33
KV4K-DV5C	論文	JAEA,	TEST 2017/10/10 成果マスタの整備後	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/11/06 11:34:32
RCNK-3ACN	論文	JAEA,	再試験 事務室担当者が差戻しするまでの動作を検証する。10/31	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_002P	2017/11/01 11:05:19

https://jpd.j-parc.jp/pds/info/experimental_report.doc

2. 実験報告書の代理提出

作業	研究成果管理システムでダウンロード可能な実験報告書のテンプレート例
<p>右記が実験報告書のテンプレート例です。</p> <p>(2)テンプレートに記載された事項に従い実験報告書を作成しPDFファイルへ出力してください。</p> <p>PDFファイルは、後で実験報告書の登録で使用します。</p>	<p style="text-align: center;">[template of MLF Experimental Report (Title of your proposal)] J-PARC Center (Affiliation of principal investigator) · William Bragg (Name of principal investigator)</p> <p>Please make sure your report satisfying followings: 以下の指示に従い作成すること（産業利用課題は全文和文での作成も可）。</p> <ul style="list-style-type: none">- The number of pages should be less than 2 in A4 size. ・ページ数を A4 で 2 ページ以内に収める。- Submit the report with pdf format. ・報告書は pdf フォーマットで提出する。- Remove security settings or password. ・パスワード等のセキュリティ設定を外す。- Delete all instructions/examples highlighted in red. ・赤文字で記載されたインストラクションを削除する。 <p>1. Introduction</p> <ul style="list-style-type: none">- While referring to previous studies related to your research project, please describe a research trend (hot topics etc.) in the field and a place of your project. Please also describe the present status and unsolved problems of your research project. ・ 課題に関連した先行研究を参照しながら、当該分野における申請者の研究についてその位置づけ、および現在の到達点と解決すべき課題等を簡潔に述べること。- Give a specific goal(s) of this experiment in your research project while referring the background above. ・ 上記の研究背景を参照しながら、この課題の位置づけと短期的な目的を具体的に記載すること。 <p>2. Experiment</p> <ul style="list-style-type: none">- Describe the details of the experimental method (e.g., measurement condition(s), data analysis protocol, etc.) you have performed to achieve the goals above. ・ 前述の目標を達成するために行った具体的な方法（測定条件、解析の手順等）を記載すること。 <p>3. Results</p> <ul style="list-style-type: none">- Describe the details of the experimental data you have obtained based on the method above. ・ 上記の結果得られた実験データについて、図を交えて詳細に記載すること。- If you failed to conduct experiment as planned, please describe reasons. ・ 実験がうまくいかなかった場合はその理由も記載すること。 <p>4. Conclusion</p> <ul style="list-style-type: none">- Describe the achievements and future prospects based on the experimental data. ・ 得られた知見や今後の展望について記載すること。

2. 実験報告書の代理提出

作業

(3) 実験報告書の新規作成画面への移動方法は以下の2通りあります。

方法その1

この画面から直接移動する。

タブ: 実験報告書未登録課題から、実験課題番号をクリックしてください。

次ページの実験報告書の新規作成画面へ移動します。

方法その2

実験報告書→新規作成の順にクリックしてください。

次ページの実験報告書の新規作成画面へ移動します。

使用する画面（研究成果管理システム）

ログインしている人物の名前

実験報告書

新規作成
検索
テンプレート

方法その2
実験報告書→新規作成の順にクリック

研究成果登録状況

実験報告書未登録課題 5件

課題番号	課題名称	実験の種類	実験責任者	ビームライン番号
TEST_2016J_003	EST_2016J_003_J	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2016J_004	EST_2016J_004_J	MLF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2016J_002	EST_2016J_002_日	LF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2017J_003P	EST_2017J_003P_日	LF	研究 太郎	TEST-1
TEST_2017J_004P	EST_2017J_004P_日	LF	研究 太郎	TEST-1

方法その1
実験課題番号をクリック

研究成果未登録課題 0件

下書き 3件

成果管理番号	成果分類	BL運営組織	表題	公開 / 非公開	実験の種類	課題番号	更新日時
PKZF-A33M	実験報告書	JAEA,		成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/11/06 17:33:33
KV4K-DV5C	論文	JAEA,	TEST 2017/10/10 成果マスタの整備後	成果公開型実験	MLF利用実験	TEST_2017J_001P	2017/11/06

<https://jpd.j-parc.jp/pds/user/pub/#/new/1/110/1201/st>

2. 実験報告書の代理提出

作業

(4) 実験報告書へ必要な情報を入力してください。以下、項目の説明です。

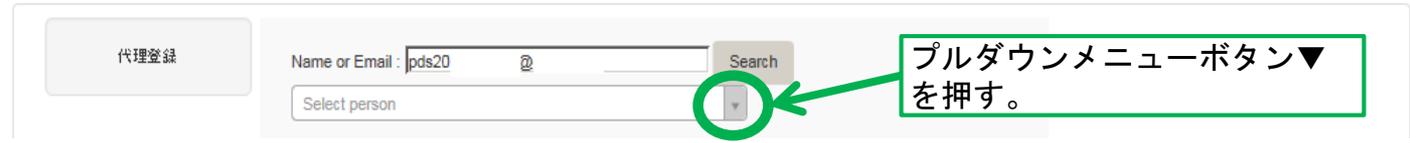
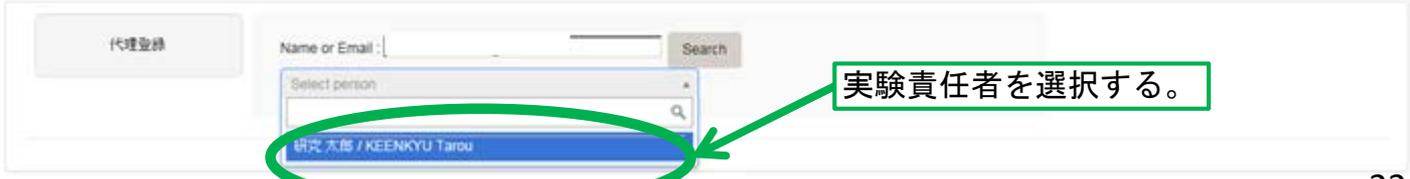
①代理登録

実験責任者以外が提出する時に使用します。次ページに手順を示します。

使用する画面（研究成果管理システム）

※ 紙面サイズの都合上、この画面の下半分を割愛しています。

2. 実験報告書の代理提出

作業	使用する画面（研究成果管理システム）
<p>(4)①の続き 代理人は実験報告書を提出するために、以下の操作を行います。</p> <p>1)項目:代理登録への入力エリアに、実験責任者のE-Mailアドレスを入力し、「Search」ボタンを押します。</p>	 <p>研究成果情報 新規登録 成果管理番号: 実験報告書 - MLF利用実験 状態: 未提出 最終更新:</p> <p>代理登録 Name or Email: pds20 @ Search Select person</p> <p>実験責任者のE-Mailを入力し、「Search」ボタンを押す。</p>
<p>2)右記のような画面が表示されるので、「OK」ボタンを押します。</p>	 <p>Web ページからのメッセージ</p> <p>1名のユーザが見つかりました。</p> <p>OK</p>
<p>3)プルダウンメニューのボタン▼を押す。</p>	 <p>研究成果情報 新規登録 成果管理番号: 実験報告書 - MLF利用実験 状態: 未提出 最終更新:</p> <p>代理登録 Name or Email: pds20 @ Search Select person</p> <p>プルダウンメニューボタン▼を押す。</p>
<p>4)実験責任者の名称が表示されるので、実験責任者を選択します。</p> <p>※ 紙面サイズの都合上、実験報告書の新規作成画面の一部のみ表示しています。</p>	 <p>研究成果情報 新規登録 成果管理番号: 実験報告書 - MLF利用実験 状態: 未提出 最終更新:</p> <p>代理登録 Name or Email: Search Select person</p> <p>実験責任者を選択する。</p>

2. 実験報告書の代理提出

作業

(4)①の続き

5)「実験課題とビームライン選択」ボタンを押します。
次ページに示す実験課題の
選択画面が表示されます。

使用する画面（研究成果管理システム）

実験課題とビームライン **

** 実験課題とビームライン選択

「実験課題とビームライン選択」ボタンを押す。

【実験課題とビームライン選択】ボタンを押すと、実験課題とビームラインがマトリクス形式で表示されますので、該当する課題やビームラインにチェックを付けてください。

課題番号	実験課題名	ビームライン
------	-------	--------

※ 紙面サイズの都合上、
実験報告書の新規作成画面
の一部のみ表示しています。

2. 実験報告書の代理提出

作業

使用する画面（研究成果管理システム）

4) ① 5)の続き

「実験課題とビームライン」ボタンを押した時に表示される課題一覧画面の例です。

提出する実験課題を選択し、「選択を反映」ボタンを押します。

実験課題・ビームライン選択

課題番号 type a part of prc	実験課題名 type a part of titl	ビームライン	
		BL-16	TEST-1
<input checked="" type="radio"/> TEST_2016J_001	TEST_2016J_001_E / TEST_2016J_001_日		TEST-1
<input type="radio"/> TEST_2016J_003	TEST_2016J_003_E / TEST_2016J_003_日		TEST-1
<input type="radio"/> TEST_2016J_004	TEST_2016J_004_E / TEST_2016J_004_日		TEST-1
<input type="radio"/> TEST_2017J_003P	TEST_2017J_003P E / TEST_2017J_003P 日		TEST-1
<input type="radio"/> TEST_2017J_004P	TEST_2017J_004P E / TEST_2017J_004P 日		TEST-1
<input type="radio"/> TEST_2017J_BL16	TEST_2017J_BL16 E / TEST_2017J_BL16 日	BL-16	

✕ キャンセル

この画面をキャンセルする時は、「キャンセル」ボタンを押す。

↓ 選択を反映

選択した結果を適用する時は、「選択を反映」ボタンを押す。

2. 実験報告書の代理提出

作業

(4)の続き
以下、項目の説明です。

②実験責任者
自動で割り付けます。

③ファイル
(2)で作成した実験報告書を
アップロードします。
実験報告書をアップロードする
場合、「Choose a file」ボタン
を押してください。
アップロードできるファイルは
PDFファイルのみです。
実験報告書のテンプレートは
メニューバーのテンプレートから
ダウンロードしてください。

※ 紙面サイズの都合上、
この画面の下半分を割愛して
います。

使用する画面（研究成果管理システム）

ログインしている
代理人の名前

J-PARC 研究成果管理システム お知らせ 新規登録 成果検索 実験報告書

研究 成木 さん English

← 前の画面に戻る

研究成果情報 新規登録 成果管理番号: 実験報告書 - MLF利用実験 状態: 未提出 最終更新:

代理登録 Name or Email: pds2016.user01@gmail.com Search
研究 太郎 / KEENKYU Tarou

実験課題とビームライン ** 実験課題とビームライン選択

課題番号	実験課題名	ビームライン
TEST_2017J_004P	TEST_2017J_004P E / TEST_2017J_004P 日	TEST-1

【実験課題とビームライン選択】ボタンを押すと、実験課題とビームラインがマトリクス形式で表示されますので、該当する課題やビームラインにチェックを付けてください。

実験責任者 ** Ja: 研究 太郎 En: Tarou KEENKYU
研究 太郎 / Tarou KEENKYU

実験課題を選択すると、実験責任者が自動的に入力されます。

Ja: En: Type or Select this person belongs to

ファイル ** Choose a file

PDFファイルを添付してください。添付可能なPDFファイルのサイズは、最大5MByteまでです。

自動で実験責任者が
選択される。

「Choose a file」ボタンを押す。
ファイル形式はPDFのみ。

2. 実験報告書の代理提出

作業

(4)の続き
以下、項目の説明です。

④成果発表予定:時期
成果を発表する時期を選択してください。

⑤成果発表予定:形式
形式を入力してください。

⑥時期未定の理由
④で未定を選択した理由を入力してください。

(6)内容を確認し、提出する時は「提出」ボタンを押してください。

提出しない場合は、「下書き保存」ボタンを押してください。「提出」ボタンを押すと、入力必須項目の入力チェックが行われ、入力されていれば次ページの登録画面へ移動します。

※ 紙面サイズの都合上、この画面の上半分を割愛しています。

使用する画面（研究成果管理システム）

成果発表予定:時期 半年以内 1年以内 2年以内 未定

成果発表予定:形式

時期未定の理由

発表の目途が立たない場合はその理由と今後の計画を記載してください。

差異し理由

下書き保存

提出

一時保存したい時は、「下書き保存」ボタンを押す。

提出したい時は、「提出」ボタンを押す。

2. 実験報告書の代理提出

作業

(6)登録結果確認画面
です。
この画面を終了する場
合、「閉じる」ボタンを押
してください。
次ページの画面へ移動
します。

使用する画面（研究成果管理システム）

研究成果情報の更新が完了しました。

成果管理番号: X5U9-FX5G BL運営組織: JAEA, 状態: 事務室確認中

課題	TEST_2016J_005 TEST_2016J_005_J TEST_2016J_005_E
ビームライン	ビームラインテスト1 / BeamLine test 1
著者	研究 太郎 / Tarou KEENKYU
発表年	2016
差戻し理由	
ファイル	
提出期限	
提出日	

↓ 閉じる

「閉じる」ボタンを押す。

2. 実験報告書の代理提出

作業

(7) 右記のような画面が表示されるので、「前の画面に戻る」ボタンを押してください。
新規作成を選択する前の画面に戻ります。

これで、実験報告書の登録作業は終了です。

使用する画面（研究成果管理システム）

← 前の画面に戻る

「前の画面に戻る」
ボタンを押す。

研究成果管理システム 新規作成

成果管理番号: KWAG-EUS0
実験報告書 - MLF利用実験

状態: 承認待ち
最終更新: 2018/01/17 11:30:16

HELP

実験課題とビームライン **

** 実験課題とビームライン選択

課題番号	実験課題名	ビームライン
TEST_2017J_001P	TEST_2017J_001P E / TEST_2017J_001P 日	TEST-1

【実験課題とビームライン選択】ボタンを押すと、実験課題とビームラインがマトリクス形式で表示されますので、該当する課題やビームラインにチェックを付けてください。

実験責任者 **

Ja: 研究 太郎
En: Tarou KEENKYU

研究 太郎 / Tarou KEENKYU

Ja:
En:
Type or Select this person belongs to

実験課題を選択すると、実験責任者が自動的に入力されます。

※ 紙面サイズの都合上、この画面の下半分を割愛しています。